

仙台育英学園父母教師会 会報 Vol. 36

宮城野萩だより

宮城野萩だより 第36号

編集・発行 令和元年 12月 25日

仙台育英学園父母教師会

〒983-0045 仙台市宮城野区宮城野2丁目4-1

Tel. 022-256-4141 Fax. 022-299-2408



Report

台風19号被害復旧のための ボランティア活動



2019年10月12日から13日にかけて日本を縦断した台風19号は、猛烈な雨により、各地に多くの被害をもたらしました。宮城県においても、特に阿武隈川や吉田川の流域で観測史上1位を更新する豪雨に見舞われ、河川氾濫などの浸水被害が生じました。この災害の復旧のために多くのボランティアが現地に赴きましたが、本校の生徒も例外ではありません。硬式野球部、ラグビー部、サッカー部、バレーボール部、その他、個人でも被災地へと駆けつけた生徒が数多くいました。

11月10日（日）に行われた丸森町での復旧ボランティア活動に参加した生徒からの感想です。

Report

台風19号被害復旧のためのボランティア活動

ボランティア活動に参加して -1

町民の笑顔を取り戻そう

英進進学コース3年 佐藤 くん【サッカー部】

車窓から見た丸森町の景色は被害の甚大さをありありと突き付けてきた。天災の怖さと助け合うことの大切さを痛感する活動となった。

ボランティア運営本部に着き、3班に分かれいよいよ活動が始まった。私達の主な仕事は住居内外の泥の除去と運搬であった。この泥が難敵で、水をたっぷりと含んでおり、土の数倍の重さがあった。だが、作業は思いの外滞りなく進めることができた。それは、「町民の方の笑顔を取り戻そう」という班長の力強い言葉が皆の心に強く響いたからだだろう。時間が来るまでそれぞれが真剣に作業に取り組んだ。活動が終わり本部に集まると誰もが泥まみれだった。町民の方から「ありがとう」の言葉を頂いた。微力だったかもしれないが復興の手助けになれたのだろうと感じられた。しかし、それと同時に完全に復興するまでには、長く険しい道のりがあることを肌で感じる事ができた。

私達は8年前の東日本大震災で被災し、助けられるありがたみを知った。今回の活動ではその際の恩返しの気持ちを表すと同時に、人と人とは支え合って生活を営んでいるということを改めて実感できる貴重な経験であった。



Report

台風19号被害復旧のためのボランティア活動

ボランティア活動に参加して -2-

地域の方々の力に

英進進学コース2年 菊地 さん【バレーボール部】

私は、初めてボランティアに参加しました。正直私が思っている以上に被害は大きく、家の中には完全に泥や水が入った状態でした。私が担当した場所は、おじいさんが一人暮らしの家で、急にこのような状況になり不安な毎日を送っていたと思います。なので目に見える部分を綺麗にするのはもちろん、おじいさんの心も元気になってくれればいいなと思い活動していました。

実際に活動を終えてみると、一日やってもこれほどしか進まないのかと少し申し訳なさが残りました。今回のような台風被害に関わらず地震などにより、私たちが普通に生活している一方で自分の家を無くした人、大切な人を亡くした人など辛い思いをした人がたくさんいます。ボランティアのように実際に力になれなくても、被災した方々に少しでも目をつけることがみなさんの力になれるのではないのでしょうか。自分だけがいいという考えではなく、辛い思いをしている方々がたくさんいることを忘れず今後生活していきたいです。そしてまたこのような機会があれば積極的に参加し、地域の方々の力になれるよう活動したいと思います。



Topics

自己研修の【生き生き学級】



パティシエ＆ベーカリー講座



草木染めを科学する

普通救命講習Ⅰ

今年度も父母教師会主催の研修事業が7月23日～26日まで、多賀城校舎を会場に開催されました。仙台育英学園の施設・設備を活用し、講師は本学園教職員という特色ある「生き生き学級」の11講座に77名の皆さんが参加され自己研修に楽しい時間を過ごされました。

参加された受講生から、それぞれ感想を寄せてもらいました。

メークレッスン・パソコン講座～初級から中級・
普通救急講習Ⅰ・日本語と英語を眺めよう・着物教室・
ハンゲル講座・草木染めを科学する・現代中国語・簿記会計・
パティシエ＆ベーカリー・書道体験講座

Topics

自己研修の【生き生き学級】

●メイクレッスンを受講して

メイクレッスンと癒しの時間



今回、「生き生き学級」があるという事が分かり、興味のあるメイクレッスンを受講させて頂きました。

日々忙しい中で、近頃はメイクするのも必要最低限、時間短縮のメイクばかりでした。

今回、眉メイク、アイメイク、リップなどのメイク方法を教わりました。私が今までこの色は無理だろうと決めつけていたアイメイクの色も、チャレンジさせて頂いたのですが、違和感がなく、新たな発見でした。

チークも今までは使いづらかったのですが、今回使用してみて、また使ってみたいと思えるようになりました。メイクレッスンはもちろんなのですが、今回担当いただいた母良田さんとの会話の中で、得る事が沢山ありました。メイクの事、子育ての事を話している中で、癒しの時間をありがとうございました。

このレッスンは私にとって、自分自身を見つめる良い機会になりました。

他の講座も興味深いものがありました。今後も生き生き学級が続きますように、よろしくお願いします。

子どもではなく、私自身が学べるレッスンという事で、このような機会をいただき、嬉しかったです。ありがとうございました。

Topics

自己研修の【生き生き学級】

●パソコン講座～初級から中級を受講して

楽しく学べた2日間



去年から気になっていた「生き生き学級」迷ってスルー。今年も「生き生き学級」のお知らせが届き迷って迷って申し込み。

1日目の足取りは重く緊張しながら教室へ。普段からパソコンを使う事がないため、「間違ったら嫌だな」「ついて行けなかったらどうしよう」と不安だらけでした。

講座が始まり先生から「パソコンはどの位出来ますか？」と聞かれ「全くの初心者なので全然出来ません」と私。「ここは初級クラスなので大丈夫ですよ。出来る方が来られると物足りなく感じるのよ」と言ってくださり、気持ちが楽になりました。席には、先生が用意してくれた資料を見ながら、先生は大画面にパソコンを打ち、それを見ながら、私もパソコンを打って行きました。分からない所があると直ぐにアシスタントの先生が丁寧に教えてくれスムーズに進みました。集中していたため、あっという間に2時間の1日目終了。

2日目の講座へ向かう足取りは軽く、不安はなく、今日はどんな事を教えてもらえるのかと期待でワクワクでした。全くWordの出来ない私でしたが、最後にはワードアートを使って文章を作成する事が出来ました。

記念にプリントして頂き、ちょっと感激。

今回は2日間と時間が足りず、エクセルまで進めませんでしたが、また機会があればパソコン講座を受けたいと思います。

親切・丁寧・楽しく教えてくださりありがとうございました。

Topics

自己研修の【生き生き学級】

●普通救急講習Ⅰを受講して

命を繋ぐ



もしも、生徒たちと過ごす中で「いざ」と言う時が来ても、人任せにせず一番に動ける自分でありたいと受講することになりました。

講習会には在校生や留学生の生徒が参加していましたが、全員が人工呼吸を始め、胸骨圧迫、AEDの使用は初めて。機械の操作に戸惑ったり、人工呼吸でうまく空気が入らなかったりと、みんな戸惑いながらも全員で救命処置を体験しました。講習会では講師の方がいて、多くの協力者、AEDもある。しかし、そんな状況ではないのが「いざ」という時です。果たして、「いざ」という時に、私を含めて参加した生徒たちはきちんと対応し、命を救うことができるのだろうか。恐らく慌てて、講習会のようにスムーズに対応することは難しいでしょう。しかし、この体験がなかったら「いざ」という時の私たちは、最悪の場合、何も出来ないかもしれません。

「完璧でなくてもいい、とにかく救急隊が来るまで命を繋いでください」

講師の方の言葉です。長年現場で命を繋いできた、あるいは救えたはずの命が救命措置されずに失われたところを何度も見てきた。そんな重みのある言葉でした。

「いざ」という時に行動できる人が増えるよう、また来年以降もこの講座が開講されればと思います。

Topics

自己研修の【生き生き学級】

●日本語と英語を眺めよう を受講して

語学学習のトビラ



この原稿を書く際、何度も書いては止めてを繰り返しました。講座のタイトルや、感想文からでは、この講座の面白さを十分に伝えられないと思ったからです。

はっきり言うと、とてもマニアックな講座です!!

誰でも楽しめるとは思えませんが、英語好き・語学好きにはたまらない内容でした。とても楽しそうにお話ししてくださった穴田先生が、学生時代には英語が大嫌いだったとは信じられません。

受験のための学習にはない奥深い面白さが、英語に限らず、日本語も含めた言語学習にはあります。勉強するためだけの英語ではなく、生活と共に変化していく「コミュニケーションの道具としての英語」として見ると、新しい発見をする事が出来ます。

今回、私は在校生の娘と参加させて頂きました。生徒さんは、夏季講習と重なりますが、参加してみる事をお勧めします。

Topics

自己研修の【生き生き学級】

●着物教室を受講して

久しぶりに袖を通す



近頃ずっと筆筈に仕舞いっぱなし…そんな時、「生き生き学級着物教室」のお知らせが届きました。早速申し込みをして、今日まで楽しみにしておりました。今年の受講生は3人。

1日目は着物の着付けまでを基本から教えていただき、2日目からは帯結びの二重太鼓の結び方を教えていただきました。後ろに手が届かない時など、東綾子先生はじめ講師の先生方にお手伝いをしていただき、何とか帯結びが出来る様になりました。帯揚げのきれいな結び方や帯締めのある様々な結び方も教わったので、これからも忘れないように練習していきたいと思います。

最終日は、中国、インドネシアからの留学生達が振袖を着せてもらい、一緒に記念撮影をしました。

終わったばかりですが、来年が待ち遠しいです。最後になりましたが、講師の先生方、関係者の皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。

Topics

自己研修の【生き生き学級】

●ハンゲル講座を受講して

マンツーマンのハンゲル講座



NHK ハンゲル講座の途中で挫折してからかれこれ10年以上。機会があれば、と思っていたところに、ハンゲル講座の案内があり、迷わず応募しました。

今年のハンゲル講座の受講者はなんと私一人、以前、挫折した箇所から始まり、さらに進展して指導していただきました。

講座の終盤、文の書き換え問題が出てきて悩みながら解きましたが、なんと全問正解！大人になっても、赤い丸をつけてもらえるとうれしいものですね。短時間でこれほどできるようになるとは！と驚いています。全て、郷古先生のおかげです。

郷古先生は韓国語だけでなく文化や食、ドラマにまで詳しく、様々なお話を伺い、時間が経つのが非常に早く感じられました。

2日間、本当にお世話になり、ありがとうございました。

Topics

自己研修の【生き生き学級】

●草木染めを科学する を受講して

美しい茜と藍



昨年に引き続き、今年度も草木染の講座に参加させていただきました。村松先生の穏やかな語りで始まる分かりやすい解説は、この講座の魅力の一つです。私は、豆乳で濃染処理されたトートバッグを茜色にハンカチを藍色に染めました。いざ、絞り染めに挑戦です。茜を煮出している間に、自分の想像のままビー玉やスーパーボール、割り箸、輪ゴムなどを使って絞りました。どのような模様に仕上がるのか、最後までのお楽しみです。多くの留学生も参加され、受講者同士の楽しい会話の中作業が進められました。私は、学生に戻った気分となりました。次に、藍染です。塩基性の濃い溶液を使用するため、保護眼鏡とビニール手袋をつけて実験しました。空気中にさらすと発色する藍の染めを楽しみながら、慎重な作業が続きました。

最後に酢酸水溶液で染止めし、完成しました。私は、美しい茜に染まったトートバッグと藍に染まったハンカチにうつとりしてしまいました。ご指導くださった村松先生、渡邊先生、ありがとうございました。

Topics

自己研修の【生き生き学級】

●現代中国語を受講して

《現代中国語講座》に参加して



梅雨の晴れ間の7月26日、現代中国語講座に参加しました。毎年楽しみにしている生き生き学級で初めての受講です。

講師の陳先生は漢方医のご資格をお持ちの流暢な日本語を話される来日3年目の雲南省ご出身の方。身近な食材の効能とセルフメディケーションに生かすためわかりやすいツボをご教授頂きました。医食同源の言葉が示すとおり、普段何気なく目にしている草花や野菜にたくさんの効能があることや、痛みに効くツボを教えて頂き驚きの連続でした。

特に驚かされたのが、タンポポやドクダミ、オオバコなどのいわゆる雑草に高い薬効成分があることでした。生のままでも煎じて飲むことによって冷え性や抗菌作用、健胃、食欲増進、咳止め、利尿効果など様々です。

また中国では眼精疲労に備え、学生たちがツボを学習することが義務付けられているとのこと。違和感を感じた時に自分で自分なりの強さでもって疲労回復ができるのはとても助かることだと感じました。

最後に食欲増進・発汗効果・冷え性に効果のあるハーブティーを頂きながら思い思いの質問タイムがありました。びっくりするくらいのたくさんのショウガのすりおろしと黒糖の入ったお茶はとてもやさしく、外の暑さを忘れさせてくれるお味でした。

普段あわただしい時間をおくっている私たちですが、こうしたゆっくりと異文化を知る場を設けて頂けたことを感謝申し上げますとともに、次年度も楽しい企画が続き沢山の方がご参加されることを願います。

Topics

自己研修の【生き生き学級】

●簿記会計を受講して

生き生き学級に参加してみて



日々の生活の中で時間に追われて生活していると興味があるものの何かを始めるといことは、容易なことではありません。

僕は、一回簿記3級の勉強をしたことがありましたが、難しく諦めた経験があります。そこで今回簿記の勉強をしようと考えました。最初は僕でもできるか心配でした。でも内容はそこまで難しくない所を先生がやさしく丁寧に教えて頂いたのでとても分かりやすい授業になりました。一日3時間という短い時間でしたが、とても内容の濃い授業になりました。

簿記の難しいところは専門用語や公式もたくさん出てくる所だと、僕は思います。ただそれは、たくさん問題を解いて慣れていかなければならないと思います。

生き生き学級がこれからも開講されることを願い、そして貴重な時間を作っていただいた事に感謝申し上げます。ありがとうございました。

Topics

自己研修の【生き生き学級】

●パティシエ&ベーカリーを受講して

焼きたてパンの良い香りに包まれて



多賀城校舎には本格的なパン工房があります。ミキサーや発酵機、オーブンもお店で使っているもので、作り方も本格的でした。

生のイースト菌を使い、当日の室温に合わせて加える水の温度も調整します。大きなミキサーでこねた後は計算して丸めるのですが、ここは少しコツが必要でした。先生方の手もとをよく見て何個か丸めているうちに少しくまできるようになりました。その後はカレーパンやメロンパンなど、おなじみの形に成形していきます。発酵を待つ間にデザートのカスタードプリンも作りました。あとはオーブンでパンが焼けるのを待つだけです。良い香りに包まれて幸せな時間でした。

焼き上がったパンは、同じように作ったつもりでも形は様々。毎日同じ見た目に焼き上げるプロのパン屋さんは、すごい技術をお持ちなのだなと改めて感じました。でも食べてみると味は抜群。焼きたてパンの美味しさは格別でした。

お世話いただいた先生方、学校関係者の皆様、このような楽しい時間をありがとうございました。

Topics

自己研修の【生き生き学級】

●書道体験講座を受講して

美しい文字を目指して



普段から、自分の書く文字には自信がありません。どうすれば美しい文字を書けるのか知りたくて、この講座を受講してみることにしました。

今回はペン字によるはがきの表書きが課題。まずは自分の住所・氏名をノートに書き、そこから先生にお手本を書いていただきました。

先生からは、文字を書くときのルールについてのお話がありました。おそらく小学校へ入学して初めてひらがなや漢字を習った時には身につけていたことなのでしょうが、すっかり忘れてしまっています。

腕全体を大きく動かして、ゆっくりと、お手本をよく見て書くようにとアドバイスをいただき、しばらくの間ひたすら練習。最後にハガキに自分の住所・氏名を書いてみました。まだまだ上手とは言えませんが、バランス良く、読みやすい文字を書くコツがつかめました。あとは練習あるのみ？日々先生のアドバイスを思い出して実践していこうと思います。

お忙しい中、講座を開いてくださった渡邊先生、すばらしい書の数々を見せてくださった書道部の皆さん、ありがとうございました。

支部活動の紹介

登米支部総会

■実施日：平成31年4月20日（土） ■場所：割烹「若鯨会館」

大崎支部役員会

■実施日：令和元年5月23日（木） ■場所：「古川商工会議所」

栗原支部総会・懇親会

■実施日：令和元年7月6日（土）

■場所：「ホテルグランドプラザ浦島」

柴田支部総会

■実施日：令和元年7月13日（土）

■場所：コミュニティセンター「オーガ」

白石・刈田支部総会

■実施日：令和元年7月13日（土） ■場所：「やまぶき亭」

気仙沼・本吉支部懇談会

■実施日：令和元年7月25日（木） ■場所：「ホテル観洋」

石巻支部総会・懇談会

■実施日：令和元年7月26日（金） ■場所：「石巻グランドホテル」

山形支部総会及び懇談会

■実施日：令和元年9月7日（土） ■場所：「大手門パルズ」

角田・丸森支部総会

■実施日：令和元年9月14日（土） ■場所：「味亭 すけろく」

登米支部懇談会

■実施日：令和元年10月19日（土）

※台風19号の被害を考慮し中止

台風19号で甚大な被害を受けた家庭への見舞金

■実施日：令和元年10月28日（月）

大崎支部懇談会

■実施日：令和元年11月15日（金）

※台風19号の被害を考慮し中止

石巻支部教育講演会（ライオンフォーラム）

■実施日：令和元年11月30日（土） ■場所：「石巻グランドホテル」

仙南三支部合同教育懇談会

■実施日：令和元年12月14日（土） ■場所：和洋亭「ぶざん」

丸森町でのボランティア活動

■実施日：令和元年11月10日（日）

■参加者：父母教師会本部、仙南三支部役員及び生徒

（男女バレー部、サッカー部）による総勢約100名

支部活動の紹介



●石巻支部教育講演会（ライオンフォーラム）



●仙南三支部合同教育懇談会



●丸森町でのボランティア活動

Report

第42回宮城県私学振興大会



- 日時：令和元年10月23日（水）午後1時30分～4時30分
- 会場：電力ホール

大会では、「豊かな私学教育の振興と保護者負担の軽減のために」をスローガンに掲げて取り組んでいくことを採択しました。本学園からは、父母教師会役員をはじめ各コースの代表者109名が集いました。

参加校紹介の部では、ライオンマーク入りのタオルを頭上に掲げて「育英、育英、仙台育英」と、声高らかに連呼して、本学園をアピールいたしました。また、本大会全体の受付を父母教師会役員30名の皆さんが行いました。



《大会スローガン》

豊かな私学教育の振興と保護者負担の軽減のために

- 1 東日本大震災により被災した学校及び生徒に対する十分な支援を要請する。
- 2 私立小学校、中学校、中等教育学校及び高等学校経常費の二分の一助成の達成を促進する。
- 3 私学に対する国庫補助制度の堅持及び充実強化を推進する。
- 4 耐震化及び老朽化・空調施設整備等による校舎等の新增改築事業に対する助成の充実強化を推進する。
- 5 授業料等減免制度の拡充を促進する。

Report

第42回 宮城県私学振興大会

参加者より -1

『育英！ 育英！ 仙台育英!!』

【特別進学コース在校生 母】

さわやかな秋晴れの令和元年10月23日、第42回宮城県私学振興大会が電力ホールにて開催されました。

会場は各校多種多様。揃いのジャンパーやはっぴを着て、壇上に多数お越しいただいた県議会議員をはじめとする来賓の方々に、それぞれの学校の特色や部活動等々の実績などを順にアピールしました。中には戦隊ヒーロー??も登場し会場を賑わせていました。仙台育英学園父母教師会役員一同は、一斉に育英のマフラータオルを頭上に掲げ「育英！ 育英！

仙台育英！」と大きく3回コールしました。声もそろって一斉に立派だったと自負しております。

生徒による発表も2校あり、音楽部による素晴らしい吹奏楽の演奏や、空手部が迫力ある型、組手を披露してくださいました。

私は今回で2回目の参加となりますが、子供達の一生懸命で元気でキラキラした姿に毎回感動いたします。たくさんの才能ある子供達が、安心してより良い学校生活が送れるよう、私学助成の充実に向けて一歩でも前進できる事を祈っております。来年も是非参加させていただきたいと思います。



Report

第42回 宮城県私学振興大会

参加者より -2

更なる改正と拡充に向けて

【特別進学コース在校生 母】

毎年行われる宮城県私学振興大会も今年で42回目となり、大勢の方々をお迎えして開催されました。私は今年で3回目の参加になります。受付業務が一通り終わり会場へ入ると、毎恒例の各学校のアピールが始まり、今年はNBAの八村塁選手の等身大パネルが出てきたのが印象的で、予想を遥かに超える大きさにとても驚きました。本校も仙台育英タオルを掲げて元気にアピールをしました。

生徒演出では、東北高校音楽部が少年隊の振り付けをしながら歌ったり踊ったりなど、昭和と平成の懐かしいポップスを演奏し、会場内もとても盛り上がりました。被災地の子供達と一緒に演奏するなどの交流もしているそうです。東北学院空手部の演武では、どれも迫力があり、東京オリンピックでも初の種目となるので興味深く観させて頂きました。このように様々な分野で活躍する子供達にとっても感動したと同時に、皆が平等に自分の夢や目標へ向かう事が出来るように、学校選択の幅を狭める事のないように、私達保護者も協力していきたいと思いました。

来年度から私学も支援金上限引き上げが施行される事になりました。これからは更なる改正と共に、大学進学の大きな負担となる、学費等の給付型奨学金の拡充を求めるなど、新たな取り組みが出来る事を期待したいと思います。



Report

第42回 宮城県私学振興大会

参加者より -3

私立学校のパワーを実感!!

【英進進学コース在校生 母】

第42回宮城県私学振興大会が電力ホールで開催されました。私立学校の教員、保護者が一同に会し、年に一度盛大に行われています。

仙台育英学園父母教師会役員は、今年も受付を担当しました。校章入りのお揃いのジャンパーに身を包み、来場される皆様をお迎えします。忙しい中でも笑顔ではきはきと受け答えするように心がけました。

大会が始まり、参加校の紹介を兼ねたアピールタイムとなりました。本校も、「育英！ 育英！ 仙台育英!!」のかけ声と共に育英タオルを掲げ、心を一つに精一杯アピールを行いました。他校からも、着ぐるみや戦隊ヒーローが登場したり、等身大パネルを使ったりとバラエティ豊かなアピールが行われ、見ている方も大いに楽しめました。それと同時に、私学の先生方、保護者の皆様のパワーを実感することができました。その後、生徒によるアトラクションとして、吹奏楽と空手の演武のステージ発表がありました。代表2校の生徒たちの素晴らしいステージに感動しました。

今回、父母教師会役員としてこの大会に関わらせていただいたことに感謝し、この先も私学教育が充実するよう願っています。



Report**第42回 宮城県私学振興大会**

参加者より -4

新時代の私学振興と発展に向けて

【外国語コース在校生 母】

先日行われた私学振興大会も今年で42回目を迎え、昭和から平成を経て令和という希望に満ちた新しい時代の大会に参加してきました。私達、仙台育英学園父母教師会役員は毎年この大会の受付として来賓の方々をはじめたくさんの参加者を笑顔でお迎えしています、今年も県内の私立学校19校から保護者、教職員が大勢集まり、定員1,000人のホールはほぼ満席となりました。私学の振興と発展、保護者負担の軽減を願う大会スローガンを決議し、各機関に私学助成の要望を行いました。そして各校の保護者、職員による学校紹介に加え、私学充実の思いを強くアピールしました。私は今年で3回目の参加になりますが、学校紹介ではその学校の特徴を活かしたパフォーマンスが年々パワーアップしている事、各校の団結力、熱意にとっても感動いたしました。本校は参加者が一番多く100人以上にもなり、一斉に立ち上がり、仙台育英のマフラータオルを頭上に掲げ、ステージに向けて、「育英！育英！仙台育英！！」と3回のコールと共に私達の学園愛と団結力を全員でアピールしました。

また、生徒出演の部では東北高校音楽部による「昭和と平成の懐かしきポップス」の演奏でステージと客席が遊行し、東北学院高等学校空手部の演技では迫力があり会場に緊張感が走り、2校共とても見応えのある素晴らしいステージで会場は感動の渦となりました。

「令和」には「人々が美しく心を寄せ合う中で文化が生まれ育つ」という意味が込められているそうです。日本独自の文化を大切にしながら平和に感謝し、次代の発展を願い多くの子供達に安心・安全で魅力と活力にあふれた新時代の環境が整えられる事を期待しています。3年間この大会に参加できた事を心より感謝申し上げます。ありがとうございました。



Records

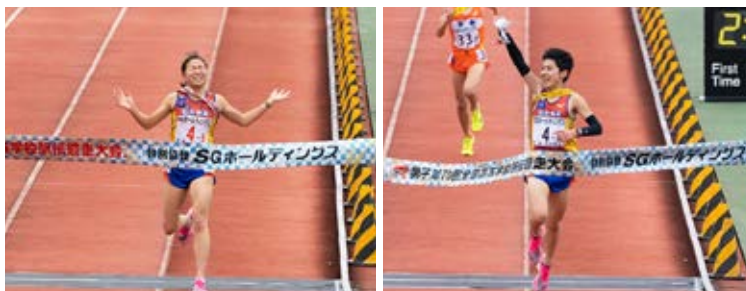
全国大会出場!!

運動部

- ★第101回全国高等学校野球選手権大会
(令和元年8月6日～22日)
- ★第41回全国中学校軟式野球大会
(令和元年8月17日～20日)
- ★男子第70回全国高等学校駅伝競走大会
(令和元年12月22日)
- ★女子第31回全国高等学校駅伝競走大会
(令和元年12月22日)
- ★第98回全国高等学校ラグビーフットボール大会
(令和元年12月27日～令和2年1月7日)
- ★男子第98回全国高等学校サッカー選手権大会
(令和元年12月30日～令和2年1月13日)

News!!

陸上競技部、全国高校駅伝大会で 26年ぶりの“男女同時優勝”を達成!!



男子70回・女子31回全国高等学校駅伝競走大会が12月22日(日)、京都市西京極総合運動公園陸上競技場発着の駅伝コース(男子7区間42.195km・女子5区間21.0975km)で開催されました。

女子は2年ぶり4回目の優勝(1時間7分0秒)、男子は12年ぶり8度目の優勝(2時間1分32秒)を手にしました。男女揃っての優勝は1993年以来、26年ぶり2度目の快挙となります。